

## TJB 学生編集部特集：新入生歓迎委員会

## 新歓行事を通して（独り言）

川辺 寛太（筑波大学 生物学類 2 年、新歓委員 宿舎入居係 班長）

4月4日、心配していた雨の様子もなく、平砂宿舎に設営したテントの中で、「ああ、去年の先輩たちもこんな気持ちだったのかなあ」と、ちょうど1年前のこの日を思い出しながら、まだかまだかと未だ見ぬ1年生を待っていた自分がいた。きっと、同じテントにいた他の新歓委員もおんなじような気持ちだったと思う。。。。。。。

期待していた割には、1年生はあんまり来なかったけどね(苦笑)。今年は宿舎入居する人数が少なかった。まあ、宿舎の評判は良くはないし、みんな敬遠したのかと納得できるけど。。。入居の思い出はあんまりないんで、次っ!!

次は、顔見せ。心配していた雨は、心配していた通りに雨となり、ひよこ(学生控室)での開催となった。でも蛍光灯の明かりがあって、一人一人の顔をしっかりと見ることが出来て、こっちの方がよかったかも。そこで1年生と2年生とが混じって自己紹介やらなんやらをして、結構しゃべった。どんだけしゃべったかという、しゃべるのが疲れるくらいしゃべった(笑)。あんなにしゃべったのは久しぶりだったと思う。普段、あまりしゃべんない人なんで。←しゃべるときはしゃべるけどね

その翌日は、入学式。心配していた雨どころか、予想以上のひどい天気だった。1年生の真新しいスーツに吹き付ける雨と風はひどいものだった。特に風はひどく、道行く人の傘をこうもりに変身させるほどだった。今年の入学式の思い出はそんなイメージでいっぱいだ、次っっ!!

その後もいろいろと行事はあったわけだけど、やっぱり一番思い出に残ったのは合宿かな。いろいろとアクシデントもあったりして、慌ただしかったけど、なんだかんだで楽しかった。バーベキューをしたりして、1年生とたくさん会話ができたと思う。そして夜中まで新歓委員の2年生と普段しないような話をして盛り上がったのは、まるで、高校生の修学旅行みたいだった。(いいねえ、若いねえ。今も若いけど) 大けがした人などもなく、無事に終わってよかったと思う。実にいい思い出だった。

こうして、慌ただしかった4月も終わり、ほっと一息して5月が過ぎた、今日は6月3日(これを書いている日です)。そろそろ、期末試験の足音が聞こえてきますが、そんなのかんげえねえ。(おっぱっぴー)。

Communicated by Shinobu Satoh, Received August 13, 2008.